

令和元年第9回教育委員会議事録

開催日時 令和元年9月25日(水)
午前9時30分～午前10時45分

場所 教育委員会会議室

出席者 教 育 長 石 黒 貢
教育長職務代理者 加 藤 正 道
委 員 木 下 史 江
委 員 中 川 まどか
委 員 高 橋 洋 一

事務局出席者 教育総務部長 荒 浪 淳
学校教育部長 井 上 正 人
教育総務部副部長兼社会教育課長
井 上 隆 雄
学校教育部副部長兼学務課長
田 口 周 一
教育総務課長 関 根 宏 夫
文化財保護課長 岸 本 光 子
指導課長兼小中一貫教育推進室長
五 味 理 絵 子
教育総務課庶務係主事 武 内 由 紀
教育総務課庶務係主事 高 橋 仁 志

○ 開会の言葉及びあいさつ 石黒教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和元年第8回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議 題

議案第39号 [説明者 田口学校教育部副部長兼学務課長]

令和2年度当初八潮市立小・中学校教職員人事異動方針について

令和2年度当初教職員人事異動を推進するに当たり、別紙のとおり令和2年度当初八潮市小・中学校教職員人事異動方針を定めたいので、議決を求め
る。

令和元年9月25日提出

八潮市教育委員会教育長 石 黒 貢

提 案 理 由 令和2年度当初教職員人事異動について、八潮市教育委員
会で基本方針を定めるため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○石黒教育長

転任・転補の中の(8)にある義務教育学校について説明してください。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

学校教育法の改正に伴い新設された学校教育制度で、小学校課程と中学校課程まで1つの学校で一貫して行う制度です。校長先生1人の下、9年間の教育活動を行う学校を指します。

今年度、春日部市の江戸川小学校と江戸川中学校が県内で初めて義務教育学校として承認され春日部市立江戸川小中学校として開校しております。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第40号 [説明者 関根教育総務課長]

八潮市立小中学校施設建設委員会委員の委嘱について

八潮市立小中学校施設建設委員会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市立小中学校施設建設委員会規則（昭和57年教委規則第4号）第3条の規定により、議決を求める。

令和元年9月25日提出

八潮市教育委員会教育長 石 黒 貢

提 案 理 由 任期満了に伴い新たに委員を委嘱したいので、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○木下委員

昨年度はどのような活動をされてきましたか。

●関根教育総務課長

昨年度につきましては、8月と2月に2回開催しました。

主な内容は、潮止中学校教室棟の増築工事と小中学校のエアコンの設置についてです。潮止中学校の増築工事については、1回目は現場確認、2回目は建築後の状況を見ていただきました。

エアコンにつきましても、1回目は小中学校校舎空調設備導入業務の中間報告を行い、2回目は契約締結の報告をした後にエアコン設置までのスケジュール等について詳細な説明をいたしました。

今後の活動予定としては、学校校舎の大規模改修をする際等に小中学校施設建設委員会のご意見をいただき、この意見を踏まえ国へ補助金の申請を行うな

どしてまいります。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第41号 [説明者 五味指導課長兼小中一貫教育推進室長]

八潮市教育相談所専任教育相談員の任命について

八潮市教育相談所専任教育相談員に別紙の者を任命したいので、八潮市教育相談所設置規則（昭和61年教委規則第1号）第4条第2項の規定により、議決を求める。

令和元年9月25日提出

八潮市教育委員会教育長 石黒 貢

提 案 理 由 前任者が令和元年9月30日付けで辞任されるため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○加藤教育長職務代理

現在、八條中学校のスクールカウンセラーをやられているということは、これを辞められるのですか。

●五味指導課長兼小中一貫教育推進室長

辞めません。週に1回火曜日に八條中学校のスクールカウンセラーをやっておりますが、それ以外の週2回、木曜日と金曜日にお願いをしております。

○石黒教育長

現在、教育相談所に臨床心理士の資格を持っている方は何名いますか。

●五味指導課長兼小中一貫教育推進室長

5名います。

○石黒教育長

相談件数が増えていますが、相談員の充実はできているかと思えます。今後

担当から増加の依頼があれば内部で検討していきたいと思います。

〔教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。〕

4. 各部課長報告・連絡事項

●荒浪教育総務部長

(1) 令和元年第3回八潮市議会定例会一般質問について

【資料説明】

令和元年第3回八潮市議会定例会の一般質問ですが、教育総務部関係では、金子壮一議員から「教室不足に対する新設校の設置計画について」、川井貴志議員から「新学習指導要領について」の質問がありました。

はじめに、金子議員の質問要旨1 ③「建設予定地の状況と学校建設基金等の活用方法について」でございますが、「新設小学校予定地は区画整理地内にあり、民家・道路・水路・電柱等が現存しており、更地となっております。学校建設基金については、新設学校を建設する際に活用したいと考えております。」と答弁しました。

次に川井議員の質問要旨1 ⑤「学校のICT環境整備は、どの程度進んでいるのかお聞かせください。」につきましては、「新学習指導要領では、情報活用能力が、言語能力や問題発見・解決能力などと同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられました。この情報活用能力を育成するための環境の整備も明記されております。文部科学省では、「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」の中で、最低限必要とされ、優先的に整備すべきICT機器の設置目標水準として、学習用コンピュータは当面の間、3クラスに1クラス分程度整備、指導者である教員用コンピュータは、授業を担当する教員1人1台配備、大型掲示装置・実物投影機の常設、超高速インターネット及び無線LANの完備、ICT支援員を4校に1人配置、などとされております。

本市では、平成30年度に、児童生徒用のタブレットパソコンを各校に1クラス分ずつ、教員用タブレットパソコンを各校に1台ずつ整備しました。またあわせて全校の校舎に無線LANを整備したので、教室等で超高速インターネットを利用できるようになっています。

今後も、学校での活用状況などを考慮しながら、計画的に更なるICT環境の整備に努めてまいりたいと考えております。」と答弁しました。

(2) 令和元年8月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について

【資料説明】

市全体の「市民の声ボックス」の8月分の投書は21件、このうち教育委員会への投書は2件でございました。

内容といたしましては、まず(3番)社会教育課と指導課宛に「学校教育の場においては、生徒等のもとより、教職員及び父兄においても、戦争時も含めた人権侵害及び差別の事案を教示の上、人権教育及び平和教育の整備拡充により、地域社会から治安を向上させるべきである。」というものでした。この投書については、回答を求められておりませんので、業務の参考とさせていただきました。

次に、(13番)社会教育課宛に「図書館を利用するためのサービス向上として、図書館利用者に限って決められたルール内で、2階公民館ロビーで食事ができるように、検討してほしい。」というものでした。

この投書に対しまして、「公民館は、サークル活動などのための施設であることから、会議などでの茶菓子や水分補給などの他は、原則として館内での飲食をご遠慮いただいております。館内で食事をしたいとの申し出はお断りしています。

しかし、市民の皆様の学習の場、コミュニケーションの場としても利用してもらえるよう、ご意見をいただいた飲食について、すぐには難しいものの、今後検討します。」と回答いたしました。

●井上学校教育部長

(1) 令和元年第3回八潮市議会定例会一般質問について

【資料説明】

始めに、矢沢江美子議員から「中学校制服の選択制について」の質問に対し、「現在、5校のうち、1校は購入時に制服を選択できます。他の4校は本人が希望を申し出ることにより制服を選択ができるようになっております。更に、この4校のうち、1校は今年度中に、もう1校は来年度から希望を申し出なく

とも購入時に制服を選択ができるようになる予定であります。今後、校長会と連携を図り、5校すべてで実施していく予定でございます。」と答弁しました。

次に、金子壮一議員から「教室不足に対する新設校の設置計画について」2点質問がありました。1点目「八潮南部地区の人口動態と未就学児の転入出数について」は、「南部3地区の区画整理地区を対象とした人口の推移についてと南部地区内の大瀬一丁目から大瀬六丁目と茜町一丁目に在住の0歳から4歳児の人口の推移」を答弁しました。2点目「保育所・児童館などを併設した複合校舎の検討について」は、「現在、策定している「学校適正配置指針・計画」の対象が学校施設であるため、保育所・児童館の併設については検討しておりません。」と答弁しました。

次に、寺原一行議員から「新学習指導要領の実施について」3点質問がありました。1点目「学習指導要領の変更点について」は、「外国語活動が新設、教科化されたこと、コンピュータ等を活用したプログラミング教育など探究的な活動の充実を図る教育が必修化されたこと、最後に、児童生徒が自ら課題を設定し、児童生徒同士の対話や協働から課題を解決することで、様々な生活場面で生かすことのできる質の高い学びへの転換が今回の変更点でございます。」と答弁しました。2点目「授業時数の確保について」は、「学習指導要領の改訂では、新たな授業時数の増加が示されたところですが、教育委員会では、この新たな授業時数の増加に対応するため、授業時数確保検討会議を設置し、新たな授業時数の確保について検討してまいりました。検討会議の意見を受け、教育委員会定例会や校長会においても検討を重ね、その結果、授業日を増やすために、令和2年度より夏季休業日の期間を短縮して、第2学期を8月25日からとする方向性を示したところでございます。

現在、夏季休業日の期間を定めた八潮市立小、中学校管理規則の一部を改正する（案）について9月1日よりパブリックコメントを実施しており、広く市民の皆様からのご意見を募集しているところでございます。」と答弁しました。3点目「実施に向けて教育委員会、各小学校の準備について」は、「教育委員会といたしましては、小学校における外国語の教科化や外国語活動の新設に対応するために、英語に慣れ親しむ授業展開ができるよう、小学校の教員を対象に

年1回、指導者を招聘した研修会を実施し、教員の指導力向上を図っております。また、語学指導補助いわゆるALTと担任との授業で、児童がネイティブの英語に触れ、普段の生活においても自然と英語が使える能力を育成しております。さらに、語学指導補助員も5名増員し、計10名の語学指導補助員が各小学校で、主体的にコミュニケーション活動ができるような力の育成を図っているところでございます。

また、小・中学校におけるプログラミング教育導入においては、論理的な思考力の育成を図るため、各小・中学校のICT環境の整備を進めるとともに、文部科学省が作成した「小学校プログラミング教育の手引」に基づいた教員研修会を昨年度から実施しております。プログラミング経験がない教員でも円滑にプログラミング授業を展開できるよう、実践的な研修の充実に努めております。

さらに、新学習指導要領の視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、目指すべき授業展開モデルである「八潮スタンダード」を活用した授業実践を市内全小・中学校で取り組んでおります。

今後、教育委員会といたしましては、自分の考えを確実にもち、友達の考えに触れながら協働して課題を解決し、習得した学習内容を実生活で活用できる授業の支援を進めてまいりたいと考えております。」と答弁しました。

次に、鈴木貞夫議員から「中学生への英検受験費の補助について」3点質問がありました。1点目「最近の中学生の英検4級・3級受験者数及び合格者数について」は、「市内各中学校が把握をしている人数になりますが、6月に行われました今年度第1回目の英語検定におきまして、本市中学生の4級・3級受検者数は、総計113名、合格者数は総計67名となっております。また、概算ではありますが、昨年度全3回の本市中学生の英語検定4級・3級の受検者数は、約160名、合格者数は約80名となっております。」と答弁しました。2点目「他市の英検受験費補助の実施状況について」は、「八潮市を除く東部教育事務所管内14市町のうち、4市町が受験費の補助を実施しています。」と答弁しました。3点目「八潮市でも補助を実施するお考えについて」は、「英語検定

をはじめとした諸検定における受検費補助の実施につきましては、補助を実施している市町もあることから、今後、調査・研究をしてみたいと考えています。」と回答しました。

次に、大泉芳行議員から「いじめに対する取り組みについて」5点質問がありました。1点目「本市のいじめの認知件数について」は、「小学校・中学校合計で、平成27年度は294件、平成28年度は424件、平成29年度は419件、平成30年度は302件でございます。」と答弁しました。2点目「調査方法について」は、「文部科学省が、毎年1回、「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」を実施しており、本市でもその調査を活用して、いじめの認知件数を把握しております。」と答弁しました。3点目「いじめが見つかった後どのような対処になるのか」は、「八潮市みんなでいじめをなくすための条例」や「学校いじめ防止基本方針」に則り、対応しております。そして、いじめに関わった児童生徒や保護者への的確な情報提供と対応をし、いじめ解消まで見守りをしております。いじめを受けた児童生徒に寄り添い、守り通す姿勢で対応するとともに、いじめを行った児童生徒に対しては毅然とした対応をしてみたいです。」と答弁しました。4点目「いじめが解決したかどうかとその判断基準」は、「文部科学省で出している「いじめ防止等のための基本的な方針」によりますと、少なくとも、いじめに係る行為が止んでいる状態が相当の期間継続していること、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことの2点が満たされていることでございます。」と答弁しました。5点目「県独自のいじめ相談について」は、「毎日24時間受け付けております「よい子の電話教育相談」や県立総合教育センターやきたうらわ相談室で相談員に直接相談できる「面接相談」がございます。」と答弁しました。

次に、前田貞子議員から「2020東京オリンピック・パラリンピック教育について」の質問に対し、「昨年度は大瀬小学校でパラリンピックの陸上選手の講演会及び競技体験会を実施し、今年度は埼玉県にゆかりのあるBリーグの選手を八條小学校へ招聘するため日程の調整を行っているところです。

また、これまでに市内の全小中学校が公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会により、東京2020教育プログラム「オリンピック・パラリンピック教育実施校」の認証を受けております。認証校は、東京2020教育プログラムのロゴマークや名称、マスコットイラスト等を学習教材や各種たより等で活用することができます。

今後、東京2020オリンピック・パラリンピックに向け気運醸成を図るとともに、人種や文化、宗教、価値観などの多様性を尊重し、共生社会の実現に不可欠な他者への共感や思いやりの心を持つ児童生徒の育成に努めてまいります。」と答弁しました。

次に、篠原亮太議員から「学校教育審議会について」2つの視点から5点の質問と「交通安全について」1点の質問がありました。初めに「学校教育審議会について」の質問要旨1「学校適正配置について」の1点目「進捗状況について」は、「児童生徒数の推計や学校規模・配置についての意向を調べるための保護者等へのアンケート調査等を実施し、集計分析を行ったところです。さらに、八潮市学校適正配置指針・計画の策定について庁内で検討するため、「八潮市学校適正配置指針・計画検討委員会」を設置したこと、八潮市学校適正配置指針・計画の策定に係る諮問機関として「八潮市学校教育審議会」を設置したこと」を答弁しました。

次に質問要旨2「大瀬小学校、潮止中学校について」の1点目「5年後の大瀬小学校及び潮止中学校の児童生徒数及び学級数の推計について」は、「将来人口推計の基本的手法であるコーホート要因法により推計を行いました。その結果、5年後の大瀬小学校の児童数は、1,138名で、必要普通学級数は36学級となる推計となっております。

また、5年後の潮止中学校の生徒数は、713名で、必要普通学級数は22学級となる推計となっております。」と答弁しました。2点目「児童生徒数に対して必要とする教室と特別教室について」は、「小・中学校では、普通教室、知的・情緒・プレイルームを含む特別支援教室、準備室を含んだ音楽室・理科室・家庭科室・図工室・生活科室、外国語室、習熟度別学習室、パソコンルームと図書室を一体化した情報センター、この他、保健室、教材室、進路指導室、日

本語指導教室、児童・生徒会室、学年集会室、教育相談室、ランチルーム、校長室、職員室、会議室等が必要と考えております。

児童生徒数の増加に伴い、普通教室の不足が生じた場合、それを補うために会議室や進路指導室、生徒会室等の特別教室を普通教室に転用せざるを得なくなり、そのことで望ましい教育環境の維持は難しくなるものと考えております。」と答弁しました。3点目「通学区域の変更についての教育委員会としてのお考えをお聞かせください。」は、「まず、大瀬小学校においては、その対応の一つとして、隣接する潮止小学校や大曾根小学校への通学区域の変更が考えられます。

しかし、すでにこれらの学校は児童数が多く、現状の学校施設では教室数に余裕はないため、大瀬小学校の増加する児童数を受け入れることはできず、このため隣接校への通学区域の変更は物理的に難しいものと考えております。

また、潮止中学校においては、平成25年度に、大原中学校の生徒数の増加への対応や潮止中学校の生徒数が少なく学校教育活動に支障があること等の課題から、大原中学校の通学区域の一部を潮止中学校に変更した経緯があり、これにより潮止中学校の部活動等の学校教育活動への支障等の課題も解決できたところではあります。

このため、通学区域の変更に関しましては、生徒数の推移を見極めるとともに、保護者や地域の方々の意見を聴きながら、他の中学校への通学区域の変更も視野に入れ、通学区域の変更の方法について慎重に検討すべきものと考えております。

今後、通学区域の変更につきましては、基本的に、現在策定中の八潮市学校適正配置指針・計画の中で、大規模校対応の方策の一つとして検討してまいります。」と答弁しました。4点目「小中学校の建設予定地に新設校を建設するお考えをお聞かせください」は「学校予定地につきましては、区画整理事業の南部東地区に中学校予定地が、南部西地区には小学校予定地が計画に位置づけられているところです。こうした中、南部地区の児童生徒数は大きく増加しており、今後も増加していく推計がでております。

教育委員会といたしましては、教室不足等にならないよう、現在行っており

ます八潮市学校適正配置指針・計画の策定の中で、学校予定地の活用について、学校教育審議会からの意見をお伺いしながら、検討していきたいと考えております。」と答弁しました。

次に、「交通安全について」の「通学路安全点検について」の質問に対し、「通学路の安全点検としては、学校、PTA、保護者、地域住民の方々をはじめ、警察などの関係機関が連携して、危険箇所の把握や安全確保を行っております。このことは、児童・生徒の安全を守る上で極めて重要であり、現在、各学校では、日頃から様々な方法で通学路の安全確認などに努めております。」と答弁し取組みの事例をご紹介いたしました。

次に、川井貴志議員から「新学習指導要領について」4点質問がありました。1点目「社会に開かれた教育課程とは具体的にどのようなことなのかお聞かせください」は、「児童生徒が未来の創り手となるために求められている資質・能力を育てていくためには、学校だけでなく、地域の人的・物的資源を活用し、社会と共有・連携しながら開かれた学校教育を展開する必要があります。社会に開かれた教育課程とは、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、学習内容を明確にし、社会と連携・協働しながら開かれた学校教育を実現するための教育計画です。」と答弁しました。2点目「主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善とは、具体的にどのような違いがあるのか」は、「情報化、グローバル化、人工知能の発達などにより、変化が激しく予測困難な社会が予想されます。そのような社会を生き抜くために児童生徒には、幅広い知識と柔軟な思考に基づき、新しいものを創造する能力が求められています。このような力を育むためには、「主体的・対話的で深い学び」の実現が不可欠です。その為に「何を学ぶか」という学習目標や内容の見直しがなされました。また、「どのように学ぶか」ということがより重視され、教員主導の授業ではなく、児童生徒主体の学びへの転換があげられます。」と答弁しました。3点目「学習指導要領の改訂に関するスケジュールですが来年度から小学校が全面実施の予定になっているかと思いますが、どの程度進んでいるのか具体的にお聞かせください」は、「新学習指導要領では、外国語が教科化され、プログラミング教育が必修となり、「主

体的・対話的で深い学び」が重視されました。

本市では、英語に慣れ親しむ授業展開ができるよう、小学校の教員を対象に年1回、指導者を招聘した研修会を実施し、教員の指導力向上を図っております。また、6名の語学指導助手ALTの活用に加え、10名の日本人による語学指導補助員を配置し、英語力の育成に努めております。

プログラミング教育の推進に向け、授業実践例の紹介や文部科学省が作成した「小学校プログラミング教育の手引」に基づき、小中学校の教員を対象に講師を招聘した実践的な研修を昨年度から実施し、円滑な授業実施に向けて準備を進めております。

今後も新学習指導要領の全面実施に向け、環境整備や研修を継続的に進めてまいります。」と答弁しました。4点目「小学校の標準授業時間ですが、改定後に外国語活動の他に新たに外国語科が増えています。外国語活動と外国語科の違いをお聞かせください」は、「在、小学校において3年生から6年生で外国語活動が実施されています。次年度から3・4年生は、外国語活動の時間が35時間、5・6年生は外国語活動から外国語科として教科化され、70時間実施されます。

文部科学省の新学習指導要領において、3・4年生の外国語活動では、「聞くこと」「話すこと」を中心とした学習で、外国語に慣れ親しみ、その後の外国語学習に抵抗なく進むための素地の育成を目指しています。一方、教科化となる5・6年生では、「聞くこと」「話すこと」だけでなく、文字を「読むこと」、「書くこと」の学習を通して、語学力の向上を目指しています。」と答弁しました。

資料はございませんが、小倉順子議員から再質問で「SDGs（持続可能な開発目標）」について、学校の状況について質問がありましたので、「八潮スタンダードに基づき、これからの社会を担っていく子供たちの育成に努めてまいります」と答弁しました。

●井上教育総務部副部長兼社会教育課長

(1) やしお市民大学「市民公開講座」について

【資料説明】

この公開講座は、やしお市民大学を広く市民の皆様にご覧いただくことを

目的に、原則年 1 回実施しております。日時は10月12日（土）午後1時30分から3時30分まで、場所は「やしお生涯学習館 多目的ホール」、テーマは「多文化共生社会に向けてのまちづくり」でございます。

（2）その他

図書館の臨時休館についてでございます。

図書館システムの更新のため、9月30日（月）から10月7日（月）までの8日間、八幡図書館、八條図書館、駅前出張所図書窓口の3か所すべてが、休館となります。

図書館では、毎年春と秋に蔵書整理のため、特別整理期間として5日間休館していますが、この期間を利用して図書館システムの更新を行うものでございます。

なお、駅前出張所図書窓口につきましても、システムの更新中は業務ができませんので、同様に休館とさせていただきます。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

（1）学校給食費の収納状況について

【資料説明】

今年度1回目の報告となります。9月24日現在、7月分までの収納率となっております。

小学校が99.54%、中学校が98.79%、小中合計が99.43%になっておりまして、昨年度の同時期と比較すると0.21%プラスとなっております。未納額も208,676円少なくなっております。

今後も学校と情報共有をしながら、個々に対応した収納を進めていきたいと考えております。

●関根教育総務課長

（1）台風15号の被害について

9月8日から9日における台風15号による被害についてご報告いたします。

この台風において八條小学校校庭の南西側に植樹していたポプラが、根元から南側に倒れ、校庭を超えて倒木してしまいました。これにより、校庭南側の民地借地にあるアルミレンタルリース会社の仮囲いパネル23枚と、品物のレンタル機材であるアルミ仮設機材を破損してしまいました。

9日朝に八條小学校校長先生とともに現場を確認し、アルミレンタルリース会社様に謝罪をし、当日中に民地側の倒木を撤去し、校庭内の倒木については12日に撤去をいたしました。

アルミレンタルリース会社様の被害額につきましては、現在、見積書を依頼しているところでございます。

なお、賠償金については全国市長会の保険適用を視野に入れ、全国市長会と折衝しているところでございます。

●岸本文化財保護課長兼資料館長

(1) 資料館体験講座「唐紙製作体験」について

【資料説明】

「唐紙製作体験」は、市内にこの技術で国選定保存技術者に認定された方がいらっしゃいますので、この伝統的な技を広く皆様に知っていただき、また実際に体験していただく貴重な機会として、昨年に引き続き2回目のワークショップを開催するものです。

(2) 資料館開館30周年記念第43回企画展「田中四一郎」展について

【資料説明】

資料館はおかげさまで今年11月23日に開館30周年を迎えます。これを記念し、10月10日から12月22日まで、八潮市の近現代を知る上で重要な人物である田中四一郎の展示会を開催します。

田中四一郎氏は、新聞に自治の権化—自治の理念を体現している人（化身）

とまで書かれ、村長をしていた潮止村を、当時の国が理想とする自治体のモデルである「模範村」にした人物で、誰しものが認める自治功労者として広く知られていた人物です。

近年では田中四一郎という名前をご存知の方も少なくなってきましたが、今年ちょうど生誕150年目の年に当たることもあり、田中四一郎というひとりの人物に焦点を当て、彼に関する膨大な資料の中から、彼の目指した村づくりを見ていきたいと思えます。

併せて、展示解説会を3回、企画展講座を1回予定しているほか、市民の方が、四一郎さんの逸話から「村長さんとポンプ」という紙芝居を作ってくださいましたので、それも10月26日にお披露目したいと思っています。

●五味指導課長兼小中一貫教育推進室長

(1) 令和元年度第1回生徒指導に関する調査について

【資料説明】

「1」の暴力行為について、小学校、中学校ともに発生しておりますが、教員が抑えようとしたときに、手や腕を払うなどしたものもカウントをしております。

「2」のいじめ認知件数は、昨年度と同じような数値になっております。解消件数については、いじめがあった後、3か月何もない状況が続いているときに、「解消した」としているもので、4月分の数値になっております。

「3」不登校の中学生の生徒数は、微増傾向にあります。

担任、管理職、教育相談担当、SC、さわやか相談員など学校で組織的に対応をするとともに、教育相談所とも連携を図りながら、対応をしております。

(2) 八潮市教育の日発表会について

【資料説明】

実施日は、11月6日（水）で、14：45開会となります。幼稚園から高校までの発表がありますので、ご都合がよろしければ、是非おこしください。

(3) 八潮市教職員派遣研修について（秋田県小坂町立小坂小学校・小坂中学校）

【資料説明】

今年度も教職員を小坂町に派遣し、教職員の資質向上を図っていこうと考えております。期間は11月11日（月）～15日（金）までです。派遣者をご覧のとおりで、校長1名、教員5名、教育委員会から1名となっております。派遣された教員は、市内で広く成果を発表することになっております。

(4) 令和元年8・9月 事件・事故報告について

【資料説明】

不審者が3件挙げられております。いずれも草加警察から情報提供がありました。

(5) 小中一貫教育視察について

【資料説明】

10月に視察が2回予定されています。

10月7日に神奈川県・綾瀬市が「小中一貫教育」について、教育委員の方や教育委員会の方、合計12名が見えて、大曾根小学校で小中一貫教育のプレゼンと授業参観を予定しております。

また、10月29日に栃木県大田原市が、「小中一貫教育」と「コミュニティスクール」について、教職員28名、コミュニティスクール推進委員会委員など38名が見えて、大瀬小学校で授業を参観していただく予定です。

(6) その他

1点目、市民まつりについてです。

10月26日（土）文スポ相撲場において、8：30から開会式で、競技が実施されます。

また、10月27日（日）に開催されます「やしお市民まつり」についてでございます。全小学校がパレードに参加し、中学生も、ボランティアとして参加します。

2点目、八潮市中学校英語弁論大会の結果についてです。

今回は市内の八潮高校と八潮南高校の英語科の先生が審査員となり実施しました。

優勝は、潮止中3年 京極 美凧（きょうごく みなぎ） 題名は「自分の身は自分で守る」。 準優勝は、八條中3年 田村 空（たむら そら） 題名は「差別のない明るい未来」

なお、優勝と準優勝の2名は、埼玉地区大会に八潮市の代表として出場いたします。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○木下委員

災害等が多く発生しており、現在は一斉メールを利用しておりますが、電気が使用できない状況になりますと学校からの連絡が付きづらいこともあると思います。例えば緊急連絡網といってもクラスの連絡網は個人情報によって使うのが難しい状態だと思います。もし何かあった場合に各学校の家庭への連絡方法などは対策を検討したりはしていますか。

●井上学校教育部長

メール配信については全家庭が登録いただいていないので、利用していない家庭へは個別に電話をしている状況です。委員のおっしゃる状況についての検討は、各学校でしていないと思われまます。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。

次回開催日程

令和元年第10回定例会 令和元年10月23日（水）午前9時30分

会議録作成責任者.....

会議録作成者.....

会議録作成者.....

上記会議録に相違ないことを出席者全員ここに署名する。

八潮市教育委員会

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員